平成22年度小学校学習状況調査　第６学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 表現・処理	観点 知識・理解
第５学年	A 数と計算	(4)ウ 同分母の分数の加法と減法	・整数の除法の結果が分数を用いると常に一つの数として表されることを理解している。	(2			○
			・割合を求める場面において，除法が用いられることを理解している。	(6			○
		(3)ア 小数の除法	・商が１より小さくなる等分除（整数)÷(整数）の場面で，除法が用いられることを理解している。	(5			○
	B 量と測定	(1)アイ 平面図形の面積	・三角形や円の面積を公式を用いて求めることができる。	(9		○	
			・底辺と高さの関係から，２つの三角形の面積を比べることができる。	(16	○		
			・円を分割して長方形に変形する活動を通して，円の面積の求め方を考える。	(17	○		
	C 図形	(1)ウエ 基本的な平面図形	・四角形の内角の和が 360°であることを用いて，外角の大きさを求めることができる。	(3		○	
			・多角形の角の大きさの和について調べたり，考えたりする。	(18	○		
	D 数量関係	(2)百分率	・もとにする量と比べられる量が分かっているとき，割合を求めることができる。	(12		○	
		(3)帯グラフ，円グラフ	・円グラフが用いられる場面を理解している。	(13			○
			・資料について，帯グラフの割合を基に部分と部分の関係を読みとることができる。	(19		○	
		(4)数量関係の見方	・二つの数量の規則性をとらえ，数量の関係について反例をあげて説明することができる。	(20	○		
第６学年	A 数と計算	(1)ア 約数，倍数	・具体的な場面の中で，最大公約数が用いられることを適切に判断できる。	(7	○		
		(2)アイウ 異分母の分数の加法，減法	・異分母分数の加法ができる。	(1		○	
			・分数の大きさについて理解している。	(4			○
		(4)積，商の見積り	・計算を用いる場面において，概数で処理することができる。	(11		○	
	B 量と測定	(3)異種の二つの量の割合	・単位量あたりの大きさを用いた比べ方を理解している。	(15			○
			・具体的な場面に即して，道のり，時間，速さを求めることができる。	(10		○	
	D	(3)平均	・平均の意味を理解している。	(8			○

移行・追加された内容（※領域及び内容，新学習指導要領に対応している）

6年	D 数量	(5)起こり得る場合	・具体的な事柄について，起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。	(14		○	